

第1学年 単元①「正の数・負の数」(24時間完了)

単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方	知 負の数の意味やそのよさを理解し、説明することができる。また、正の数・負の数の四則計算の方法や、能率的に計算を進める方法を説明することができる。 思 正の数と負の数が反対の方向や性質を表す数であることを用いて、負の数を含む数量の大小関係や四則計算の方法を論理的に考察することができる。 態 負の数の必要性やよさについて理解したことや考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。 数学的な考え方 「帰納的」「特殊化」「図形化」「単純化」「演繹的」「類推的」
------------------------------------	--

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準		
1 2 3 4 5	◎ 反対の方向や性質を表す数について理解するとともに、数の範囲を負の数まで拡張して数量の大小関係を考察する。 ◆ 「帰納的」「特殊化」「単純化」「図形化」 【「M①」「M②」】 ☆ 正の数, 負の数, 絶対値, 自然数, 不等号 ◇ 数の大小を比べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	正の数・負の数の意味や負の数の必要性を理解し、説明することができる。	数量の大小関係を、基準を基に数の範囲を負の数まで拡張することについて、論理的に考察することができる。
	B	正の数・負の数の意味や負の数の必要性を理解することができる。	数量の大小関係を、基準を基に数の範囲を負の数まで拡張することについて、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			数量の大小関係を比べる方法について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			数量の大小関係を比べる方法について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述
6 7 8 9 10 11 12	◎ 正の数・負の数の加法と減法について計算の意味や計算の方法を考察する。 ◆ 「図形化」「帰納的」「演繹的」「類推的」 【「M①」「M②」】 ☆ 正の符号, + (プラス), 負の符号, - (マイナス), 加法, 減法, 項, 正の項, 負の項, 加法の交換法則, 加法の結合法則 ◇ 負の数が含まれた加法と減法について考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	加法と減法の計算の方法を理解し、説明することができる。 加法と減法の計算を能率的に行う方法について説明することができる。	加法と減法の計算の方法を負の数の意味や数直線を用いて論理的に考察することができる。
	B	加法と減法の計算の方法を理解することができる。 加法と減法の計算を能率的に行うことができる。	加法と減法の計算の方法を負の数の意味や数直線を用いて考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			加法と減法の計算の方法について、考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			加法と減法の計算の方法について、考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述
13 14 15 16 17	◎ 正の数・負の数の乗法と除法について計算の意味や計算の方法を考察する。 ◆ 「演繹的」「類推的」 【「M①」「M②」】 ☆ 乗法, 除法, 逆数, 乗法の交換法則, 乗法の結合法則, 四則, 分配法則 ◇ 負の数が含まれた乗法や除法の計算方法を考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	乗法と除法の計算の方法を理解することができる。 乗法と除法の計算を能率的に行う方法について説明することができる。	乗法と除法の計算の方法を負の数の意味や計算のきまりを基に、論理的に考察することができる。
	B	乗法と除法の計算の方法を理解し、説明することができる。 乗法と除法の計算を能率的に行うことができる。	乗法と除法の計算の方法を負の数の意味や計算のきまりを基に、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			乗法と除法の計算の方法について、考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			乗法と除法の計算の方法について、考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述
18 19 20 21 22	◎ 指数について考察する。 ◆ 「帰納的」「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 指数, 自然数の集合, 整数の集合, 素数, 素因数分解 ◇ 指数について調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	指数の意味を理解し説明することができる。 数の構成に着目して、指数を含む計算について説明することができる。	指数の意味を根拠にして式に表し、論理的に考察することができる。
	B	指数の意味を理解することができる。 数の構成に着目して、指数を含む計算をすることができる。	指数の意味を根拠にして式に表し、考察することができる。
			主体的に学習に取り組む態度
			指数について、考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			指数について、考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。

	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
23	◎ 単元レポートに取り組む。			
24	◎ 単元テストに取り組む。			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	本単元で学習した正の数・負の数を扱うことよさについて理解し、説明することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した正の数・負の数を扱うことよさを用いて、課題について論理的に考察することができる。	正の数・負の数に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見だし、解決しようとしている。
	B	本単元で学習した正の数・負の数を扱うことよさについて理解することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した正の数・負の数を扱うことよさを用いて、課題について考察することができる。	正の数・負の数に関する課題に取り組み、新しい課題を見だし、解決しようとしている。
	評価方法	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト

第1学年 単元②「文字の式」(20時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 文字の式の表し方や、文字の式の計算方法について理解し、説明することができる。また、事象の中にある数量やその関係を、文字を用いて等式や不等式に表し、簡単にすることを能率的に行うことができる。</p> <p>思 文字の式の計算方法を、面積図や分配法則を利用して論理的に考察することができる。また、事象の中にある数量やその間の関係を、論理的に考察することができる。</p> <p>態 様々な事象の数量関係について、文字を利用して考察したり、文字の式の計算方法を考察したりするなど、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を基に、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「帰納的」「記号化」「一般化」「特殊化」「演繹的」「類推的」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準			
1 2 3	<p>◎ 文字を用いて表す方法について考察する。 ◆ 「帰納的」「記号化」 【「M①」「M②」】 ◇ 一つずつ数えることが大変な数量について調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	文字の式の表し方を理解し、説明することができる。 数量を表す式を、文字式の表し方に従って、能率的に求める方法を、説明することができる。	規則性に着目し、三角形の個数とマッチ棒の本数の関係を、論理的に考察することができる。	三角形の個数とマッチ棒の本数の関係を調べる方法について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	文字の式の表し方を理解することができる。 数量を表す式を、文字式の表し方に従って、能率的に求めることができる。	規則性に着目し、三角形の個数とマッチ棒の本数の関係を考察することができる。	三角形の個数とマッチ棒の本数の関係を調べる方法について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
4 5 6	<p>◎ 文字式の大小関係について考察する。 ◆ 「一般化」「特殊化」 【「M①」「M②」】 ☆ 文字の値、式の値、代入する、項、一次の項、係数、一次式 ◇ 円に内接する四角形や三角形の性質について調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	文字には様々な数が代入できることを理解し、大小関係を説明することができる。 文字の値を代入して、式の値を能率的に求め、大小を比較する方法を、説明することができる。	文字に代入する値を場合分けし、大小関係について論理的に考察することができる。	文字に代入する値を場合分けし、大小関係について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	文字には様々な数が代入できることを理解し、大小を比較することができる。 文字の値を代入して、式の値を能率的に求め、大小を比較することができる。	文字に代入する値を場合分けし、大小関係について考察することができる。	文字に代入する値を場合分けし、大小関係について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
7 8 9	<p>◎ 同類項同士の計算方法について考察する。 ◆ 「特殊化」「図形化」「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 同類項 ◇ 同類項同士の計算をするためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	同類項同士の計算方法を理解し、説明することができる。 同類項同士の計算を能率的に行う方法を、説明することができる。	同類項同士の計算方法を面積図や分配法則を利用して論理的に考察することができる。	文字の式の計算方法を面積図や分配法則を利用し、同類項同士の計算について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	同類項同士の計算方法を理解することができる。 同類項同士の計算を能率的に行うことができる。	同類項同士の計算方法を面積図や分配法則を利用して考察することができる。	文字の式の計算方法を面積図や分配法則を利用し、同類項同士の計算について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
10 11 12	<p>◎ 式を代入した場合どのように計算するのか考察する。 ◆ 「演繹的」「類推的」 【「M①」「M②」】 ◇ 括弧を含んだ式を簡単にするためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	式を代入した場合の計算の方法を理解し、説明することができる。 式を代入した場合の計算を、能率	式を代入した場合の計算の方法について、分配法則を利用して論理的に考察することができる。	式を代入した場合の計算の方法について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。

		的に行う方法を説明することができる。		
	B	式を代入した場合の計算の方法を理解することができる。 式を代入した場合の計算を、能率的に行うことができる。	式を代入した場合の計算の方法について、分配法則を利用して考察することができる。	式を代入した場合の計算の方法について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法		学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
13 14 15	<p>◎ 数量関係を、文字を用いて等式または、不等式に表す方法について考察する。 ◆ 「演繹的」、「類推的」 【「M①」「M②」】 ☆ 等式、左辺、右辺、両辺、π、不等式、\geq、\leq ◇ 等式や不等式の数量関係を考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	様々な数量関係を、等式や不等式に能率的に表す方法を説明することができる。	数量関係を、文字を用いて論理的に考察することができる。	様々な数量関係を、文字を用いて等式や不等式に表す方法について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	様々な数量関係を、等式や不等式に表すことができる。	数量関係を、文字を用いて考察することができる。	様々な数量関係を、文字を用いて等式や不等式に表す方法について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法		学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
16 17 18	<p>【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 文字の式で学習したことを活用して、身の回りの場面について考察する。 ◆ 「記号化」、「単純化」、「演繹的」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◇ 文字の式で学習したことを利用して身の回りの問題を解決するには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◇ 身の回りの課題に数学を用いるには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	具体的な事象を解決するために、文字式を用いることが有効であると理解し、文字式の性質を用いていつでも言えるきまりを説明することができる。	文字式で学習したことを具体的な場面で活用し、論理的に考察することができる。	具体的な事象の中に、文字式を用いて解決することに関心を持ち、文字式の性質を用いて課題を解決しようとしている。また、どのような場面で文字式をいかすことができるか説明しようとしている。
	B	具体的な事象を解決するために、文字式を用いることが有効であると理解し、文字式の性質を用いることができる。	文字式で学習したことを具体的な場面で活用し、考察することができる。	具体的な事象の中に、文字式を用いて解決することに関心を持ち、文字式の性質を用いて課題を解決しようとしている。
評価方法		学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
19 20	<p>◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	本単元で学習した文字式の性質を理解し、説明することができる。	本単元で学習した文字式の性質を用いて、課題について論理的に考察することができる。	文字式に関する課題に主体的に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見いだし、解決しようとしている。
	B	本単元で学習した文字式の性質を理解することができる。	本単元で学習した文字式の性質を用いて、課題について考察することができる。	文字式に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返りながら、解決しようとしている。
評価方法		単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト

第1学年 単元③「方程式」(15時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 方程式や比例式の解法を理解し、説明することができる。また、移項をすることで、方程式を能率的に解決することができるなど、方程式を用いて課題を能率的に解決することができる。</p> <p>思 方程式や比例式の解法を論理的に考察することができる。また、数量の関係を的確に捉えて方程式をつくり、解の吟味をすることができる。</p> <p>態 方程式について考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「記号化」「特殊化」「帰納的」「図形化」「演繹的」「類推的」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準		
1 2	<p>◎ 未知数の求め方について考察する。 ◆ 「帰納的」「特殊化」「図形化」「記号化」 【「M①」「M②」】 ☆ 方程式、方程式の解、方程式を解く ◇ 未知数を求めるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A		未知数を求める方法について、論理的に考察することができる。	未知数を求める方法について考察すると共に、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B		未知数を求める方法について、考察することができる。	未知数を求める方法について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述		追究の様子、学習プリントの記述
3 4 5 6 7	<p>◎ 方程式を解く方法について考察する。 ◆ 「特殊化」「演繹的」「類推的」 【「M①」「M②」】 ☆ 等式の性質、移項、一次方程式 ◇ 方程式を解くためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	方程式の能率的な解法について理解し、説明をすることができる。	能率的な方程式の解法について、論理的に考察することができる。	能率的な方程式の解法について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	方程式の能率的な解法について理解することができる。	能率的な方程式の解法について、考察することができる。	能率的な方程式の解法について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述		追究の様子、学習プリントの記述
8 9	<p>◎ 比例式を解く方法について考察する。 ◆ 「記号化」「図形化」「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 比例式、比の値、比例式の性質、比例式を解く ◇ 比例式を解くためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	比例式の意味を理解し、説明することができる。 比例式を用いて課題を能率的に解決する方法を説明することができる。	比例式の性質が成り立つことについて、論理的に考察することができる。	比例式の性質の証明について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	比例式の意味を理解することができる。 比例式を用いて課題を能率的に解決することができる。	比例式の性質が成り立つことについて考察することができる。	比例式の性質の証明について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述		追究の様子、学習プリントの記述
10 11 12 13	<p>【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 方程式を用いて、身の回りの場面について考察する。 ◆ 「記号化」「演繹的」「図形化」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◇ 方程式を利用して身の回りの問題を解決するには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◇ 身の回りの課題に数学を用いるには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	方程式を用いて課題を能率的に解決する方法を説明することができる。	数量の関係を的確に捉え、方程式を作り、課題を解決したり、解の吟味をしたりして、ふさわしい解を論理的に考察することができる。	具体的な事象の中から方程式を用いて課題を解決することについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で方程式を生かすことができるかを考えようとしている。
B	方程式を用いて課題を能率的に解決することができる。	数量の関係を的確に捉え、方程式を作り、課題を解決したり、解の吟味をしたりして、ふさわしい解を考察することができる。	具体的な事象の中から方程式を用いて課題を解決することについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。

	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
14	◎ 単元レポートに取り組む。			
15	◎ 単元テストに取り組む。			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	本単元で学習した方程式や比例式を用いて課題を解決することのよさを理解し, 説明することができる。	様々な解決方法を考察する際に, 本単元で学習した方程式や, 比例式を用いて, 課題の解決方法について論理的に考察することができる。	方程式に関する課題に主体的に取り組み, 自分の考えを振り返り, 新しい課題を見いだし, 解決しようとしている。
	B	本単元で学習した方程式や比例式を用いて課題を解決することのよさを理解することができる。	様々な解決方法を考察する際に, 本単元で学習した方程式や, 比例式を用いて, 課題の解決方法について考察することができる。	方程式に関する課題に取り組み, 自分の考えを振り返りながら, 解決しようとしている。
	評価方法	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト

第1学年 単元④「変化と対応」(23時間完了)

単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方	知 二つの数量の変化を比例、反比例の関係として捉え、それらを表、式、グラフに能率的に表すことができる。また、比例、反比例の変化と対応の様子や表、式、グラフの特徴を理解し、説明することができる。 思 比例、反比例について、表やグラフの特徴について論理的に考察することができる。また、具体的な事象の中から比例、反比例の関係を見だし、それらを表、式、グラフに表して論理的に考察することができる。 態 具体的な事象の中から比例、反比例などの関数関係を見だし、それを表、式、グラフに表して考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。
	数学的な考え方 「関数」「演繹的」「記号化」「特殊化」「類推的」

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準		
1 2 3	◎ 伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子を考察する。 ◆ 「関数」「記号化」 【「M①」「M②」】 ☆ 関数、比例、変数、定数、比例定数 ◇ 伴って変わる二つの数量について変わり方の特徴を見付けるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子を理解し、説明することができる。	伴って変わる二つの数量を見付け、論理的に考察することができる。
	B	伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子を理解している。	伴って変わる二つの数量を見付け、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
4 5 6 7 8	◎ 比例の表やグラフをかき、その特徴を考察する。 ◆ 「関数」「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ x軸、y軸、座標軸、原点、座標、x座標、y座標 ◇ 比例の表やグラフの特徴を調べるためには、どうすればよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	比例の表やグラフの特徴を理解し、説明することができ、関係を能率的に表すことができる。	比例の表やグラフの特徴を論理的に考察することができる。
	B	比例の表やグラフの特徴を理解し、関係を表すことができる。	比例の表やグラフの特徴を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
9 10	◎ 比例のグラフを能率的にかく方法について考察する。 ◆ 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ◇ 比例のグラフを能率的にかくためには、どうすればよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	比例のグラフを能率的にかく方法を理解し、説明することができる。また、グラフを能率的にかくことが	比例のグラフを能率的にかく方法を論理的に考察することができる。
	B	比例のグラフを能率的にかく方法を理解することができる。また、グラフをかきことができる。	比例のグラフを能率的にかく方法を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
11 12	◎ 変域のある事象の課題に取り組み、変域の表し方とグラフのかき方について考察する。 ◆ 「特殊化」「関数」 【「M①」「M②」】 ☆ 変域 ◇ 変域に制限のあるときのxとyの関係を考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	変域の必要性や用語を理解し、説明することができる。	時間に伴って、面積が変化の様子を論理的に考察することができる。
	B	変域の必要性や用語を理解することができる。	時間に伴って、面積が変化の様子を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
13 14 15 16 17	◎ 反比例の表やグラフをかき、その特徴を考察する。 ◆ 「関数」「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 反比例、反比例の比例定数、双曲線 ◇ 反比例の表やグラフの特徴を調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		

18	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	反比例の表やグラフの特徴を理解し、説明することができ、反比例の関係を表やグラフに能率的に表すことができる。	反比例の表やグラフの特徴を論理的に考察することができる。	反比例の表やグラフの特徴について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	反比例の表やグラフの特徴を理解し、反比例の関係を表やグラフに表すことができる。	反比例の表やグラフの特徴を考察することができる。	反比例の表やグラフの特徴について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述	
19 20 21	【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 比例や反比例を用いて、身の回りの場面について考察する。 ◆ 「関数」、「類推的」、「演繹的」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◆ 日常場面において、数学を用いるためにはどうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◆ 身の回りの課題の解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	身の周りの事象を解決するために、比例や反比例を用いることが有効であると理解し、表や式、グラフを用いることができる。	身の周りの事象から見いだした二つの数量の関係について、比例や反比例の関係を論理的に考察することができる。	具体的な事象の中で、二つの数量の関係について比例や反比例の関係になることに興味をもち、表、式、グラフを用いて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で比例や反比例を生かすことができるかを考えようとしている。	
B	身の周りの事象を解決するために、比例や反比例を用いることができる。	身の周りの事象から見いだした二つの数量の関係について、比例や反比例の関係を考察することができる。	具体的な事象の中で、二つの数量の関係について比例や反比例の関係になることに興味をもち、表、式、グラフを用いて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。	
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述	
22 23	◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	本単元で学習した比例、反比例を理解し、説明することができる。	本単元で学習した比例、反比例の表現方法を用いて、課題について論理的に考察することができる。	比例、反比例に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見だし、解決しようとしている。	
B	本単元で学習した比例、反比例を理解している。	本単元で学習した比例、反比例の表現方法を用いて、課題について考察することができる。	比例、反比例に関する課題に取り組み、新しい課題を見だし、解決しようとしている。	
評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	

第1学年 単元⑤「平面図形」(24時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>【知】 直線や角, 図形の移動, 円やおうぎ形など平面図形についての基本的な性質について理解し, 説明することができる。また, 基本的な作図方法を用いて, 条件を満たす図形を能率的に作図することができる。また, おうぎ形の弧の長さや面積, 中心角を能率的に求めることができる。</p> <p>【思】 様々な図形の作図の仕方をひし形やたこ形, 円やおうぎ形の性質などを根拠にして論理的に考察することができる。</p> <p>【態】 図形についての観察, 操作や実験を通して, 様々な事象を図形として考え, 図形の性質を考察したことを基に, 具体的な場面において主体的に取り組み, 様々な解決方法を吟味し, よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>【数学的な考え方】 「演繹的」「図形」「特殊化」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通した問い) と評価基準		
1 2	<p>◎ 点や線の性質について考察する。 ◆ 「演繹的」, 「図形」 【「M①」「M②」】 ☆ 線分, 2点間の距離, 点と直線の距離, 垂線, 垂直, 平行, ⊥, //, 平行な2直線間の距離, 半直線, 交点 ◇ 垂線が最短の長さになることを説明するためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	直線の決定条件, 図形の距離を理解し, 説明することができる。	垂線が最短になることを演繹的に考察することができる。	点や線に関心を持ち, 様々な場合をかいいて, 点や線の性質について考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
B	直線の決定条件, 図形の距離を理解できる。	垂線が最短になることを, 考察することができる。	点や線に関心を持ち, 様々な場合をかいいて, 点や線の性質について考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
3 4	<p>◎ 三角形の決定条件を考察する。 ◆ 「図形」, 「特殊化」 【「M①」「M②」】 ☆ △, ∠ ◇ 三角形の決定条件を導くためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	三角形の決定条件を理解し, 説明することができる。	三角形の決定条件を, 全て見いだすことができる。	三角形が一つに決まるための条件について考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
B	三角形の決定条件を理解することができる。	三角形の決定条件を, 見いだすことができる。	三角形が一つに決まるための条件について考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
5 6 7 8 9	<p>◎ おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式を考察する。 ◆ 「演繹的」, 「図形」 【「M①」「M②」】 ☆ おうぎ形, 弧, 弦, 中心角, 弧ABを$\overset{\frown}{AB}$と表す ◇ 二つのおうぎ形の大きさを比較するためには, どうすればよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式の意味を理解し, 説明することができる。おうぎ形の弧の長さや面積, 中心角を能率的に求めることができる。	おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式を論理的に考察することができる。	おうぎ形の弧の長さや面積を求め方について考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとする。
B	おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式の意味を理解し, おうぎ形の弧の長さや面積, 中心角を求めることができる。	おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式を考察することができる。	おうぎ形の弧の長さや面積を求め方について考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
10 11 12 13	<p>◎ 平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質を考察する。 ◆ 「図形」 【「M①」「M②」】 ☆ 移動, 平行移動, 回転移動, 回転の中心, 点対称移動, 対称移動, 対称の軸, 中心, 垂直二等分線 ◇ 3つの移動(平行移動, 回転移動, 対称移動)できる場所を見付けるためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質について理解し, 説明することができる。図形の性質を生かして, 図形を能率的に作図することができる。	平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質を論理的に考察することができる。	平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質について考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
B	平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質について理解し, 図形	平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質を, 考察することができる。	平行移動, 回転移動, 対称移動した図形の性質について考察し, 自分の考えを振り

		の性質を生かして、図形を作図することができる。		返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
14 15 16 17	◎ 垂線、垂直二等分線、角の二等分線の基本的な作図方法を理解する。 ◆ 「演繹的」、「図形」 【「M①」「M②」】 ☆ 角の二等分線 ◇ 垂線、垂直二等分線、角の二等分線を作図方法が正しいことを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	基本的な作図の手順を理解し、説明することができ、垂線、垂直二等分線、角の二等分線を能率的に作図することができる。	作図方法が正しいことを、論理的に考察することができる。	観察、操作や実験を通して、基本的な作図方法が正しいことについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で図形の性質を生かすことができるかを考えようとしている。	
B	基本的な作図の手順を理解し、垂線、垂直二等分線、角の二等分線を作図することができる。	作図方法が正しいことを、考察することができる。	観察、操作や実験を通して、基本的な作図方法が正しいことについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。	
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
18 19	◎ 平行線の作図方法を理解する。 ◆ 「演繹的」、「図形」 【「M①」「M②」】 ☆ 接する、接線、接点、弦、中心角、弧、おうぎ形 ◇ 平行線の作図方法が正しいことを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	基本的な作図の手順を理解し、説明することができ、平行線を能率的に作図することができる。	平行線の作図方法が正しいことを論理的に考察することができる。	観察、操作や実験を通して、作図方法が正しいことについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。	
B	基本的な作図の手順を理解し、平行線を作図することができる。	平行線の作図方法が正しいことを考察することができる。	観察、操作や実験を通して、作図方法が正しいことについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。	
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
20 21 22	【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 図形の性質を用いて、身の回りの場面について考察する。 ◆ 「演繹的」、「図形」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◇ 平行線の作図方法が正しいことを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◇ 身の回りの課題の解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	身の周りの事象を解決するために、図形の性質を用いることが有効であると理解し、説明することができる。	身の回りの事象について、図形の性質を基に論理的に考察することができる。	具体的な事象の中で図形の性質を利用し課題解決をすることについて考察すると共に、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で図形の性質を生かすことができるかを考えようとしている。	
B	身の周りの事象を解決するために、図形の性質を用いることができる。	身の回りの事象について、図形の性質を基に考察することができる。	具体的な事象の中で図形の性質を利用し課題解決をすることについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。	
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
23 24	◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	平面図形に関する発展的な問題に、既習の知識を用いることができ、基本的な作図方法を用いて、条件を満たす図形を能率的に作図することができる。	平面図形に関する発展的な問題を、本単元で学習した知識を用いて、論理的に考察することができる。	平面図形に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見いだし、解決しようとしている。	
B	平面図形に関する問題に、既習の知識を用いることができ、基本的な作図方法を用いて、条件を満たす図形を作図することができる。	平面図形に関する問題を、本単元で学習した知識を用いて考察することができる。	平面図形に関する課題に取り組み、新しい課題を見いだし、解決しようとしている。	
評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト

第1学年 単元⑥「空間図形」(21時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 基本的な立体の特徴、空間における平面や直線の位置関係及び柱体や錐体の表面積や体積の求め方を理解し、説明することができる。また、基本的な柱体や錐体の体積、おうぎ形の弧の長さや面積及び柱体や錐体の表面積を能率的に求めることができる。</p> <p>思 空間における平面や直線の位置関係や、線や面による立体の構成、展開図、求積方法について、論理的に考察することができる。</p> <p>態 身の回りの空間図形について理解したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を基に、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「演繹的」「図形」「一般化」「記号化」「特殊化」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準		
1 2 3 4	<p>◎ 展開図を組み立てたときの立体や空間における平面や直線の位置関係について考察する。</p> <p>◆ 「図形」, 「特殊化」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 空間に交わる・平行・平面上にある, 垂直, 垂線, 点と平面の距離, ねじれの位置</p> <p>◇ 立体の展開図や空間における平面や直線の位置関係を調べるには, どうすればよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	空間における平面や直線の位置関係を理解し, 説明することができる。	展開図を組み立てたときの立体や空間における平面や直線の位置関係を論理的に考察することができる。
	B	正空間における平面や直線の位置関係を理解することができる。	展開図を組み立てたときの立体や空間における平面や直線の位置関係を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			展開図を組み立てたときの立体や空間における平面や直線の位置関係について考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			展開図を組み立てたときの立体や空間における平面や直線の位置関係について考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述
5 6	<p>◎ 基本的な立体の構成や特徴を考察する。</p> <p>◆ 「図形」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 底面, 側面, 頂点, 角錐, 円錐, 回転体, 回転の軸, 母線, 正角柱, 正角錐</p> <p>◇ 立体の特徴を調べるためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	基本的な立体の特徴を理解し, 説明することができる。	基本的な立体の構成や特徴を論理的に考察することができる。
	B	基本的な立体の特徴を理解することができる。	基本的な立体の構成や特徴を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			基本的な立体の特徴について, 考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			基本的な立体の特徴について, 考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述
7 8 9 10 11 12	<p>◎ 立体の表面積や体積の求め方を考察する。</p> <p>◆ 「演繹的」, 「図形」, 「記号化」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 表面積, 底面積, 側面積</p> <p>◇ 柱体や錐体, 球などの立体の体積や表面積を求めるためには, どうすればよいですか【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	立体の表面積や体積の求め方を理解し, 説明することができる。柱体や錐体の表面積や体積を能率的に求めることができる。	柱体や錐体の表面積や体積の求め方を論理的に考察することができる。
	B	立体の表面積や体積の求め方を理解し, 柱体や錐体の表面積や体積を求めることができる。	柱体や錐体の表面積や体積の求め方を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			柱体や錐体の体積や表面積や体積の求め方について, 考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			柱体や錐体の体積や表面積や体積の求め方について考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述
13 14 15 16	<p>◎ 正多面体の特徴を考察する。</p> <p>◆ 「演繹的」, 「図形」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 多面体, 正多面体, ねじれの位置</p> <p>◇ 正多面体を考えるためには, どうすればよいですか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	正多面体の特徴を理解し, 説明することができる。	正多面体が5種類しかないことを論理的に考察することができる。
	B	正多面体の特徴を理解することができる。	正多面体が5種類しかないことを論理的に考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			正多面体に関心をもち, その特徴を調べ, 5種類しかないことについて考察すると共に, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			正多面体に関心をもち, その特徴を調べ, 5種類しかないことについて考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述

17	【拡散的思考】【収束的思考】			
18	◎ 図形の性質を用いて、投影図について考察をする。			
19	◆ 「演繹的」、「図形」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】			
	☆ 投影図、立面図、平面図			
	◇ 平行線の作図方法が正しいことを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】			
	◇ 身の回りの課題の解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	図形の見方を深める課題を解決するために、図形の性質を用いることができる。	図形の見方を深める課題について、図形の性質を基に論理的に考察することができる。	空間図形の性質を利用し課題解決をすることについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で図形の性質を生かすことができるかを考えようとする。
	B	図形の見方を深める課題を解決するために、図形の性質を用いることができる。	図形の見方を深める課題について、図形の性質を基に考察することができる。	空間図形の性質を利用し課題解決をすることについて考察し、自分の考えを振りかえろうとしている。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
20	◎ 単元レポートに取り組む。			
21	◎ 単元テストに取り組む。			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	本単元で学習した空間図形を扱うこと理解し、説明することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した空間図形を扱うことのよさを用いて、課題について論理的に考察することができる。	空間図形に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見いだし、解決しようとしている。
	B	本単元で学習した空間図形を扱うこと理解することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した空間図形を扱うことのよさを用いて、課題について考察することができる。	空間図形に関する課題に取り組み、新しい課題を見いだし、解決しようとしている。
	評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト

第1学年 単元⑦「データの活用」(13時間完了)

単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方	<p>知 目的に応じて、能率的にデータを整理したり、整理したデータからその傾向や特徴を正確に読み取ったりすることができる。また、目的に応じたデータの収集や、整理の仕方及びデータの傾向や特徴の読み取り方について理解し、説明することができる。</p> <p>思 データの傾向や特徴を読み取り、論理的に考察することができる。また、考察したことを分かりやすく説明するためにデータを活用することができる。</p> <p>態 意欲的に目的に応じたデータを収集し、表やグラフに整理し、そのデータの傾向や特徴を読み取り、データを活用して考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	数学的な考え方 「統計」「図形化」「数量化」

時間	節における学習内容(◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通した問い)と評価基準		
1 2 3 4 5 6	◎ 目的に応じたデータの整理の仕方を考察する。また、整理したデータからその傾向を読み取る。 ◆ 「数量化」、「図形化」【「M①」「M②」】 ☆ 代表値、平均値、中央値、最頻値、度数分布表、ヒストグラム、階級、度数、度数分布多角形、累積度数、相対度数、累積相対度数、階級値、範囲(範囲=最大値-最小値) ◇ データを整理して、その傾向を読み取るためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	階級、度数、度数分布表、ヒストグラム、度数分布多角形、相対度数、平均値、中央値の意味を理解し、目的に応じて、能率的にデータを整理したり、整理したデータからその傾向や特徴を正確に読み取ったりして、説明することができる。	データの傾向を読み取るのに、目的に応じてヒストグラムや度数分布多角形、相対度数を用いて論理的に考察することができる。
	B	階級、度数、度数分布表、ヒストグラム、度数分布多角形、相対度数、平均値、中央値の意味を理解し、目的に応じて、データを整理したり、整理したデータからその傾向や特徴を読み取ったりすることができる。	データの傾向を読み取るのに、ヒストグラムや度数分布多角形、相対度数を用いて考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
7 8 9 10 11	【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 整理したデータからその傾向を読み取り、読み取ったことを活用する。 ◆ 「図形化」、「数量化」、「統計」【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◇ データを活用して解決策を提案するためには、どうすればよいでしょうか。【「RM」】 ◇ 身の回りの課題について解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	目的に応じたデータの収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、平均値、中央値、最頻値を能率的に求めたり、ヒストグラムや度数分布多角形を能率的につくったりして、説明することができる。	目的に応じたデータを判断し代表値やグラフに表現したり、データの傾向を読み取り論理的に考察したりすることができる。
	B	目的に応じたデータの収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、平均値、中央値、最頻値を求めたり、ヒストグラムや度数分布多角形をつくったりすることができる。	データを判断し代表値やグラフに表現したり、データの傾向を読み取り考察したりすることができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
12 13	◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	目的に応じたデータの収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、平均値、中央値、最頻値を能率的に求めたり、ヒストグラムや度数分布多角形を能率的につくったりして、説明することができる。	目的に応じて、資料の傾向や特徴を読み取り、論理的に考察することができる。
	B	目的に応じたデータの収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、平均値、中央値、最頻値を求めたり、ヒストグラムや度数分布多角形をつくったりすることができる。	データの傾向や特徴を読み取り、考察することができる。
	評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト